

産業教育
MIRAIフェア
2023

県内の専門・総合学科の高等学校に学ぶ生徒が、学習過程及び成果の発表や展示販売を行います。学科の枠を超えて学びを共有しましょう！

共に創ろう、新しい未来を。
～対話からイノベーションを生み出す～

日時:令和5年12月2日(土)午前11時30分から午後3時30分まで

会場:長野県総合教育センター 講堂他

内容:①ポスターセッション ②ワークショップ ③展示販売 ④講演会(ワークショップ)

日程:

		11 時	12 時	13 時	14 時	15 時
講 堂	式典ゾーン		受付	開会 行事	講演会 (ワークショップ)	閉会 行事
	ポスターセッション・ ワークショップゾーン			ポスターセッション ・ワークショップ		
	販売ゾーン		展示販売			

発表一覧:

発表 番号	発表形態	学校名	学科名等	発表テーマ・実施内容
1	ポスター セッション	須坂創成	農業	LEDの夜間照射がブドウの果実品質に及ぼす影響の研究発表
2		上伊那農業	農業	里山を駆ける食材～有害獣が夕食のおかずになるまで～
3				植物発電 植物の違いで発電量に変化が出るのか調査する
4				ササユリをより早く生育させる方法を調査する
5				～経ヶ岳にササユリを一万本咲かせよう～
6		南安曇農業	農業	生ゴミ培地でのキノコ培養の可能性
7		長野工業	工業	下水汚泥は農業の救世主～消化汚泥の肥料化を目指して～
8		岡谷工業	工業	物質化学科で実施する Ni 電気めっきの研究発表
9		長野商業	商業	3DCAD、3Dプリンタの課題研究
10		小諸商業	商業	開発商品に関する説明
11		辰野	商業	開発商品に関する説明
12			商業	ソルガムで創る循環型社会～ソルガムを活用した商品開発～
13		赤穂	商業	松本山雅を活性化させる学習を通して、社会連携活動を考える
14		上田千曲	家庭	地域との連携による商品開発
15	ワーク ショップ	市立長野	総合学科	課題研究「やっちゃえ！赤穂プライダル」の取り組み
16		松本工業	工業	発酵食の研究と地域連携
17	展示販売	上伊那農業	農業	大規模災害に立ち向かえ！防災士と学ぶ応急救援活動！
18		長野商業	商業	シーケンス制御実習装置の製作
19		小諸商業	商業	鹿肉製品の販売
20		辰野	商業	クラブで開発した商品の販売
21		穂高商業	商業	ソルガムを活用した商品の販売
				オリジナルパンの販売
				穂商シユーの販売

主催:長野県総合教育センター

共催:塩尻市教育委員会、独立行政法人 中小企業基盤整備機構

後援:長野県産業教育振興会

今年度の研修講座の様子(教科教育部, 企画調査部)

小学校図画工作 基本Ⅰ ～調査官と学ぶ指導と評価～ 6月9日(金)実施

小林調査官より、造形遊びの価値や実践のポイント、実践事例などについてのお話しいただき、小グループでの話し合いでも各グループの話題に適切にアドバイスをいただきました。

子どもの気持ちになって取り組んだ造形遊び体験では、小林調査官が先生役となって、導入の活動や児童への言葉かけについて実践的に伝えていただきました。造形遊びの価値や楽しさを感じながら、実践意欲を高めていた皆さんの姿を感じました。

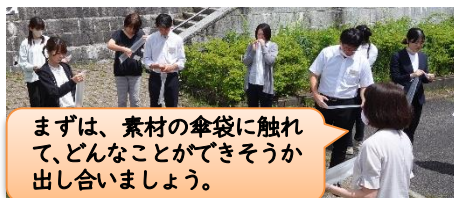


●小林調査官のお話をお聞きし、実践上の悩みなどをグループでディスカッション

小林調査官は各グループをまわり、グループで話し合われている内容に即して補足の説明をされ、受講者の個別の質問にも丁寧に受け答えしていただきました。



●演習「傘袋と養生シートを使った造形遊び体験」で、導入や声かけのポイントを理解



まずは、素材の傘袋に触れて、どんなことができるか出し合ひましょう。



膨らましたり平らにのばしたりして素材の様々な可能性を生かしているいいですね。同じ形が並ぶ様子は、リズムも感じますね。

●受講者の振り返り
造形遊びの魅力をわかりやすく伝えていただき、午後の演習を通して、よさを実感することができました。学校に戻って、すぐに子どもたちと取り組んでみたいです。



自然の物を生かして組み合わせてみるのもいいですね。



シートの下から光が透れてきているといいですね。

信州大学教職支援センター連携講座

「授業力向上のためのカリキュラム・マネジメント」

10月2日(月)、5日(木)実施

受講者のふりかえりから

講師: 信州大学教職支援センター教授 小山 茂喜 先生

それぞれの先生方の教育実践を、〇〇の学級だから、△△の先生だからできるすごい授業だと思って、その中から一般的な要素を見つけていくという視点が今まで欠けていたことに気付いた。

一見すると楽しい授業、楽しそうそうな授業で、児童生徒が興味を持ち主体的に学習したいという意欲につながるように見えるものでも、授業の意味、その教材である意味、まとめ方などに課題が見つかることが分かった。

「授業研究においては様々な論点がまざった状態で議論される」という指摘にハッとさせられた。だからこれまでの授業研究会はかみ合わなかったのか!と思った。論点を明確にして発言するようにしたい。



午前の講義では、教員全員が学校教育目標、グランドデザインなどについて共通認識をもち、それを達成するために各教科で何ができるのかを考えることの大切さを学びました。また、午後は信州大学の学生さんと一緒に、映像を基に授業分析を行いました。同じ映像を見ていても様々な視点があること、視点によって全く異なる意見となることへの気づきがありました。